



抱負を語る（左から）畑中孝太監督、村岡愛美選手、佐藤優選手
 14日、デーリー東北新聞社

女子サッカー 八戸で続けられる環境を

八学大中心の新クラブ、本社訪問 国スポ選手も育成へ

八戸学院大のメンバーを中心とする女子サッカークラブチームの畑中孝太監督らが14日、八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、女子サッカーを通じて八戸地域を盛り上げていく決意を示した。

同日は畑中監督と同大の松山政義大キャリア支援担当部長、コーチ兼任の村岡愛美選手、佐藤優選手の4人が来社し、荒瀬潔社長らと懇談。地元出身の選手が県外へ多く流出してしまう現状に対し、松山部長は「女性たちに八戸でサッカーを続けられる機会を与えたい」と述べ、地域に根差したチームにしていく方針を語った。

4月に結成されたクラブは、今季から北東北女子サッカーリーグに参戦。将来的になでしこリーグへの参入を視野に入れている他、2025年に青森県で開催

される国民スポーツ大会に向けて、選手を育成していく考えた。

畑中監督は「高校生から社会人まで切磋琢磨しながら、地域に愛されるチームをつくっていきたい」と意気込み。荒瀬社長は「いろいろな形でサポートしていくので、頑張ってほしい」と激励した。

（上村公倍）